

合

がっしょう

掌



ともしつごう こころのあかり
④ 真言宗豊山派



合掌

ごはんの前に

この子は合掌

します。

今日は戦争で

苦しむ国の

子どものことを

思いました。



インド人のあいさつは

合掌がっしょうです。

「ナマステー」といって互たがいに

相手あいてを敬うやまいます。

わたしたちが使つかう

「南無なむ」という言葉ことばは

この「ナマステー」から

きたものです。

動物たちが
合掌したら
こんな感じで
しょう。



しるし。
こゝろが強くな
合掌しよ
感謝しよ

この人は仏さまに
合掌しています。
今日一日無事に
暮らせたことを
感謝しています。





この仏さまも
ほとけ

合掌しておられ
かっしょうしておられ

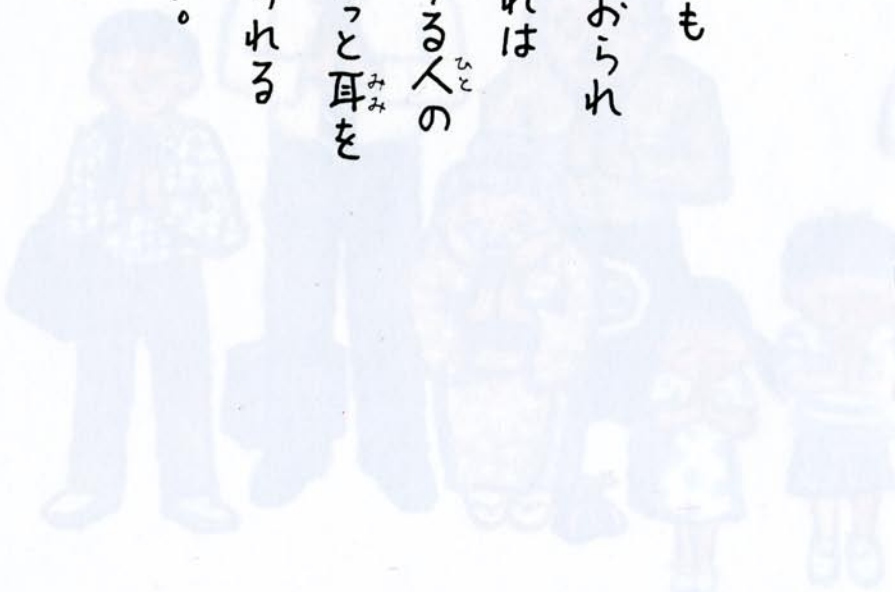
ます。それは

おまじりする人の
おまじりするひと

心の声にじっと耳を
こころのこゑにじっとみみ

傾けておられる
かたむけておられる

お次女です。
おつがた



そして
心の中の思いが
ひとつの形にまとまり
ひとつの声に
まとまってきます。



合掌すると
気持ちが
おちつき
静かになります。



右手は仏さま。

左手はわたしたち。

だから合掌は

仏さまとわたしたちとが

ぴったりとひとつになって

心と心をかよわせる印です。

さあ、両手を合わせ

弘法大師さまへの思いを

ひとつに集めて。

心が静まるまで

「南無大師遍照金剛」

と、くりかえしくりかえし

お唱えいたしましょう。

「南無大師遍照金剛」

南無大師遍照金剛

南無大師遍照金剛

」



わたしたちの宗派では
金剛合掌といって
右図のように合掌
いたします。

